

リオデジャネイロ・オリンピック アジア予選に向けて

～栗山雅倫監督特別インタビュー～

Q. アジア予選に向けての準備で特に強化に取り組んだこと

A. あらゆることに取り組んできました。代表強化であるので、「ここだけ特に…」というスタンスでは目標達成は難しいのが現実です。しかし、敢えてあげるのであれば、形態的に劣るが故に、自立した逞しい選手づくりです。一つは豊かな判断力の獲得に向けて、判断トレーニングをとにかく質・量ともにエネルギーを割きました。そしてコンタクトフィットネスの向上、つまりあたり負けしない身体作りです。さらには多くの判断トレーニングに、フィジカル的な負荷をかけたトレーニングも沢山取り入れ、負荷のかかった状態での判断力の向上にも力を入れました。

Q. 代表での指導と大学クラブ指導での相違点

A. 学生を指導する際も、より大きい舞台に立てるようなビジョンを描いて接していますし、基本的には変わりません。しかしあらゆる部分へのこだわりが重要になりますし、細かいニュアンスへの要求もより多くなると感じています。また、学生ではリスクなプレーと思えるようなことでも、精度を上げて“使えるプレー”にしていると思います。あとは年齢層の幅が広いチーム構成のため、その良さが出るような工夫を色々な角度から取り組んでいます。

Q. 東海大学卒業生(相澤莉乃選手・川村杏奈選手)に期待するところ

A. 他のプレーヤー同様、すべての力を発揮してくれるよう、心から願っています。私の立場として、OGだから…と特別に捉えているところはありません。ただ東海大のすべて卒業生に期待するところは、東海大生らしい明るさと逞しさを、次のステージに多いに役立てて欲しいと感じています。二人に対してもそのようにあって頂きたいと思います。

ただすべてのミッションを終えたとき、二人と代表で出来たことに感謝の気持ちを伝えたいと思います。